

知
市ってニュース!

このコーナーでは、常陸大宮市のさまざまな出来事や話題を紹介し、皆さんからの身近な情報をお待ちしています。どうぞお気軽に情報をお寄せください。

★情報政策課広報統計係
☎ 52-1111 (内線383)
FAX 53-6010
e-mail jousei@city.hitachiomiya.lg.jp

市生涯学習フェスティバル

第2回常陸大宮市生涯学習フェスティバル(大宮地域)が、市文化協会大宮支部主催により10月から12月にかけて開催。市文化センターをはじめ3会場において、ダンス発表会、美術展、華道展、茶会、合唱祭、将棋及び囲碁大会、吹奏楽団演奏会などが連日開かれました。

クラブや公民館講座所属の方、個人で研さんを積んでいる方、学校からの参加など各方面から幅広い参加があり、練習や学習の成果が披露されました。



▲生涯学習フェスティバル

▶山方地域文化祭



11月3日から3日間、山方公民館において開催され、書道や絵画をはじめ、児童生徒や一般からの作品約1200点が展示されました。また、様々なクラブによる体験教室には多くの方が参加しました。

最終日は文化団体による芸能発表会が開かれ、日頃の練習の成果が発揮されて素晴らしい発表会になりました。

また、午後は三遊亭円丈氏の講演・落語と原田直之氏のお話と民謡が披露され、曲に合わせて民舞クラブによる踊りが披露されるなど、たくさんの人々が訪れ、会場は大いに賑わいをみせました。

山方地域文化祭

美和地域文化祭

11月3・4日、美和中学校体育館において開催され、絵画や書道など、今年もたくさんのお出展作品が展示され、4日の芸能発表会には多くの観覧者で賑わいました。



緒川文化祭

11月4・5日、緒川総合センターで会場に開催されました。児童及び生徒や一般の方の作品展示のほか、文化団体などによる芸能発表会や囲碁・将棋大会が行われ、真剣な演技や白熱した対局が見られました。



また、郷土料理の試食や健康推進コーナーもあり、多くの方が訪れました。

美和地域講演会 ありのままに生きる



11月10日、美和工芸ふれあいセンターにおいて、真屋順子さんと高津住男さん夫妻を迎えて「美和地域文化講演会」が開催されました。

講演テーマは「ありのままのまに生きる」。

女優として活躍されていた真屋さんは、平成12年、仕事中に脳出血で倒れました。夫で俳優の高津さんの献身的介護と懸命のリハビリにより14年に復帰することができたそうです。

講演では、高津さんとともに病氣と闘ったエピソードや、家族の愛や健康のありがたさについて語られました。

会場に集まった方々は、お二人の仲むつまじい様子が心和ませながらも、真剣な表情で聞き入っていました。

着実に育つ交流の芽 豊島区の森づくり隊ツアー



11月11日、2回目となる「豊島区の森づくり隊ツアー」を開催。「おがわふれあいの森」でソメイヨシノの植樹やミズバショウの植栽を行いました。

当日は、朝から断続的に雨に見舞われ、午前中、矢数市長と内田助役が見守る中、参加者はカッパを着ての植え付け作業に励みました。

午後は、やすらぎの里公園近くにある「やすらぎの里農園」を会場にイモ掘り体験。参加者たちは、掘ったイモを袋いっぱい詰めて、満足そうにお土産として持ち帰りました。

その後、物産センター「かざぐるま」、ごぜんやま温泉「四季彩館」に立ち寄り常陸大宮市での1日を満喫しました。

中には毎回参加されている方もいて、徐々にですが、当市に足を運んでくれる区民が増えていきます。今後も、一人でも多くの方に訪れてもらえるよう、さまざまな事業を進めていく予定です。



御前山歩く会

11月23日、恒例の歩く会が70人の参加のもと、「奥日立きららの里」内の、約4キロのコースで開催されました。

見晴らし広場では、美しい景色を眺めながら手作りのお弁当を広げ、家族や友達と一緒に、ゆつくりとした秋のひとときを満喫しました。



転倒骨折予防教室

介護予防事業の一環として、市が包括支援センター及び在宅介護支援センターへ委託して実施しているもので、65歳以上の方を対象に、転倒などによる骨折を予防し、寝たきりにならず健康的な老後の生活を支援するため開催しています。



北部包括支援センターが5月から7月に実施した教室では、健康運動指導

士による運動指導、転倒骨折予防に関する講話、頭の体操などのワンポイント講話、栄養士による骨折予防料理教室など行い、転倒リスクの少ない生活の実践を学びました。6回コースの教室に1回平均20人が参加しました。参加した方々からは、「来るのが楽しみ」「回数がもう少し多くてもよかった」などの意見がありました。最終日には修了証書が交付され、参加者からは笑顔がこぼれました。

読書の推進で県より感謝状

読み聞かせの会美和かわせみの会市読み聞かせ連絡会のボランティアグループ「美和かわせみの会」は、10月29日、県立図書館で開催された「いばらき読書フェスティバル2006」

において、県読書推進運動協議会長より感謝状が贈られました。

この会は、たくさんの方に喜んでほしいとの純粋な思いから、幼稚園や小学校で子どもたちに絵本や紙芝居などの楽しさを伝え、地域のイベント等に参加し地域活動にも貢献しています。また、かわせみの会は、毎月第1土

曜日に図書館情報館でおはなし会を開いています。



親子で茶道に親しむ

小場小学校家庭教育学級



11月10日、小場小学校において親子で伝統文化に親しもうと、家庭教育学級の一環として茶道教室が開かれ、1年から6年生までの児童とその保護者が参加しました。

教室では、江戸千家茶道教授の菊池宗千先生とそのお弟子さんの指導を受けながら、親子そろって茶菓子や抹茶をいただきました。

菊池先生から、お茶は、まずおもてなしの心が第一。思いやりの気持ちがある作法の基本であるとお話があり、参加した親子は、背筋をピンと伸ばしながら、あいさつの仕方や飲み方などお茶の作法や心得を学んでいました。

大根が豪華料理に変身

料理コンクール

11月14日、市食生活改善推進員連絡協議会主催の第2回料理コンクールが、おみややコミュニティセンターで開催され、食改推進員59人が参加しました。

地産地消と身近な野菜の摂取をめざし、今年は大根を使用した料理を募集したところ、7品目が出品されました。

市長をはじめとする審査員14人による審査の結果、最優秀「大根・トンステーキ」（根本紀子さん・山方支部）、優秀「畑のミルフィーユ」（田丸あぐりさん・大宮支部）が選ばれました。

大根が、見事に豪華料理に変身していただきました。今後、各地域へ普及させていきたいと思えます。

また、最優秀・優秀作品は、来年2月9日に開催される常陸大宮保健所管内コンクールに出品されます。



▲最優秀の「大根・トステーキ」

個別的労使紛争解決サービス

茨城県労働委員会では、労働者個人（パートタイマーや派遣社員の方を含む）と使用者との間の紛争解決を目的とする「個別的労使紛争解決サービス」を行っています。

このサービスは、県内に所在する事業所の労働者または使用者の方が申請できます。また、費用は無料です。

公益代表（弁護士や大学教授）、労働者代表（労働組合の役員など）及び使用者代表（会社役員など）の三者で構成するあっせん員が、労使双方から主張をお聞きし、解決に結びつく合意点を探りながら、話し合いにより紛争が解決するよう努めます。

申請手続など、詳しいことはお気軽にお問い合わせください。



茨城県労働委員会事務局（県庁23階）

☎ 029-301-5563 FAX 029-301-5579

電子メール roudoui@pref.ibaraki.lg.jp

ふれあいギャラリーで個展

を開きませんか？

11月上旬、北町にある「ふれあいギャラリー」で梶山富雄さん（抽ヶ台）の水墨画個展が開催されました。

梶山さんは現在77歳。水墨画は68歳から始めたそうです。今回の個展は、約10年の間に描きためたものが数十点になり、子どもたちに77歳の記念にどうかと勧められて開いたそうです。風景画や、水墨画には珍しいSLを描いたものなど約30点が展示され、連日多くの来場者で賑わいました。

私も個展を開きたいと思っている方は「ふれあいギャラリー」をお気軽にご利用ください。詳細は、大宮公民館（☎52-0673）まで。

